

聞いてもらいたい、つなげたいを叶える。

悩みを
聞いてほしい



広島版

ひきこもり支援情報 ポータルサイト

(仮称)

支援まで
つなげたい



クラウドファンディングで集まった
200万円超の支援金を原資に

2021年3月、ポータルサイトオープン

ポータルサイト企画の概要

障がい者の自立訓練(生活訓練)を行う障害福祉サービス事業所を運営するNPO法人FOOT&WORK(広島県安芸郡海田町、理事長 下原 千夏)と、精神科向け電子カルテメーカーの株式会社レスコ(本社:広島市中区、代表取締役 藤川 佳應)は、広島県で「ひきこもり」に悩むご本人やご家族のための支援ポータルサイトを共同で構築します。

制作に関する資金はクラウドファンディングを介して募りました(2020年6月30日~8月21日)。当初目標の100万円はわずか22日で達成し、最終的には149名の支援者の方々から212万9000円の支援が集まりました。

特定非営利活動法人 FOOT & WORK と株式会社レスコは、このポータルサイトの構築・運営を通じて常に情報を発信し、相談者が自分にぴったりの支援や居場所を見つけることができるようサポートしていきます。

広島版 ひきこもり支援情報ポータルサイト (仮称) について

運用開始予定 2021年3月

内容 相談先の掲載、「ひきこもり」に関する情報紹介

目的 「ひきこもり」に悩む人が適切な相談先を見つけることができる
支援者同士のつながりや情報共有による、より充実した支援の実現

本企画の背景

近年、若者だけでなく中高年も「ひきこもり」状態になっていることが社会問題となっています。

内閣府の調査^(※)によると「ひきこもり」の人数は、15歳～39歳までが54万1千人以上、40歳～64歳までは61万3千人と、合計で約100万人を超えると推計されています。これだけでも大きな数ですが、実際には統計データで捕捉されていない方も相当数いると予測されています。

※内閣府「生活状況に関する調査」平成30年度

「ひきこもり」は厚生労働省の定義では、「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流を殆どせずに、6カ月以上続けて自宅にひきこもっている状態」と言われています。「ひきこもり」は10代からシニア層までと年齢の幅が広く、全ての世代の課題と言えます。

「ひきこもり」の原因としては、ケガや病気によるもの、不登校、スマホやネット依存、受験や就職活動の失敗、貧困や孤立、退職を機とするもの、精神疾患、発達障害によるもの等、様々な理由が挙げられ、誰にでも起こり得るものと考えられています。



病気・ケガ



退職



スマホ・ネット依存



貧困・孤立



受験・就活の失敗



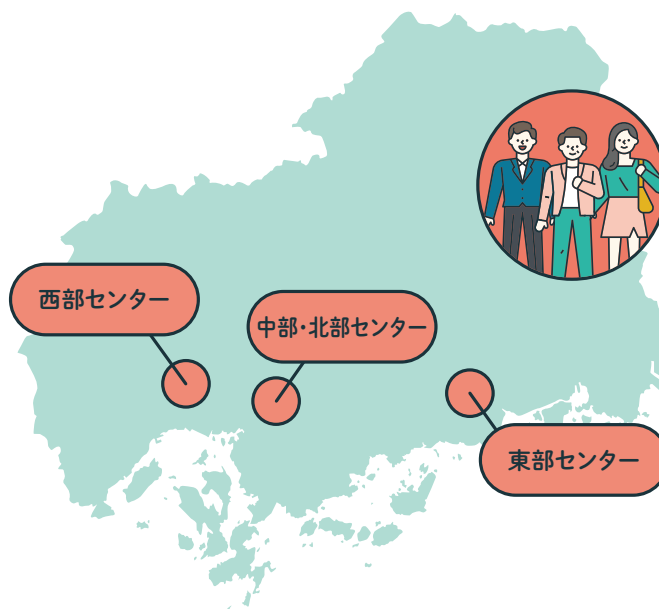
精神疾患

広島県のひきこもり問題

現在広島県では、県内に3カ所「広島ひきこもり相談支援センター」が設置されており、その他にも民間、NPOの団体により、ひきこもり支援を行っている機関が複数あります。

NPO法人FOOT & WORKが支援活動を行う中で、どこに相談したらよいのかわからないという課題に何度も直面してきました。その結果、「ひきこもり」状態が長期化・深刻化しているケースが広島でも多く見られます。

これは本人がしんどいだけでなく、社会的な不安、経済的な損失にもつながります。



令和元年度 ひきこもり支援センター相談件数

電話相談	1,678件
メール相談	1,018件
来所相談	2,125件
その他(訪問相談等)	370件

そこで、「相談先がすぐに見つかり、相談対応の幅を広げることのできるポータルサイト」のプロジェクトがスタートしました。

プロジェクトには、株式会社レスコの精神科向け電子カルテ開発や精神科医療関係者への取材で培ったノウハウを活かせることから、共同での構築が決定しました。

ポータルサイトで出来ること

「ひきこもり」の当事者やご家族がポータルサイトで相談先を見つけて**支援団体とつながる**ことで、「ひきこもり」の状態が長期化・深刻化しないよう支援していきます。また、電話相談や来所相談が難しい場合でも、インターネットを使ったオンライン相談にも対応するなど、**相談の幅を広げる**ことも目的の一つです。

「誰かに話を聞いてほしい」

「どこに相談すればいいかわからない」

そんな悩みを、支援情報ポータルサイトが解決します。



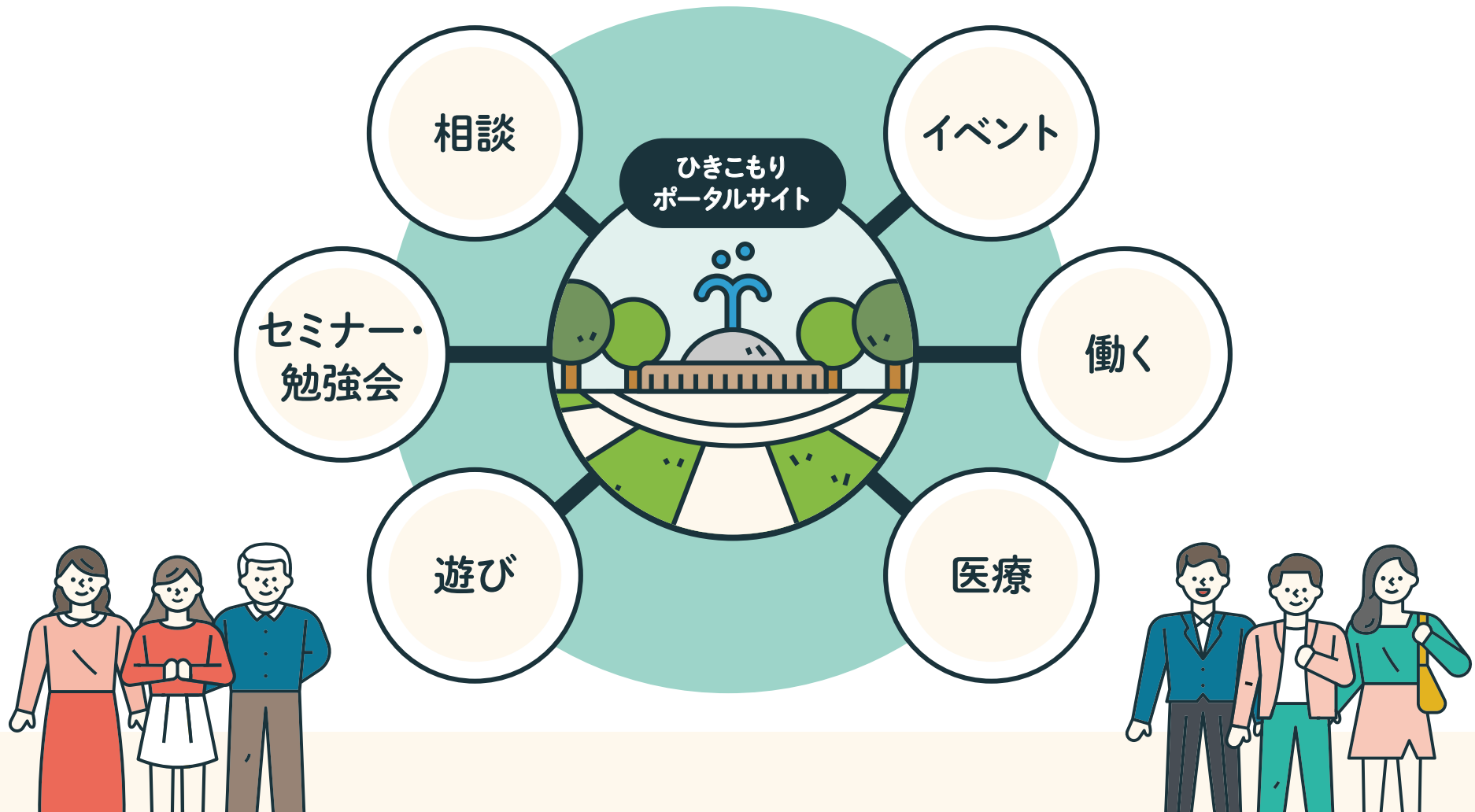
- ✓ 相談先がすぐに見つかる
- ✓ ネットで相談ができる



※画像は製作中のイメージです

広島版に込める想い

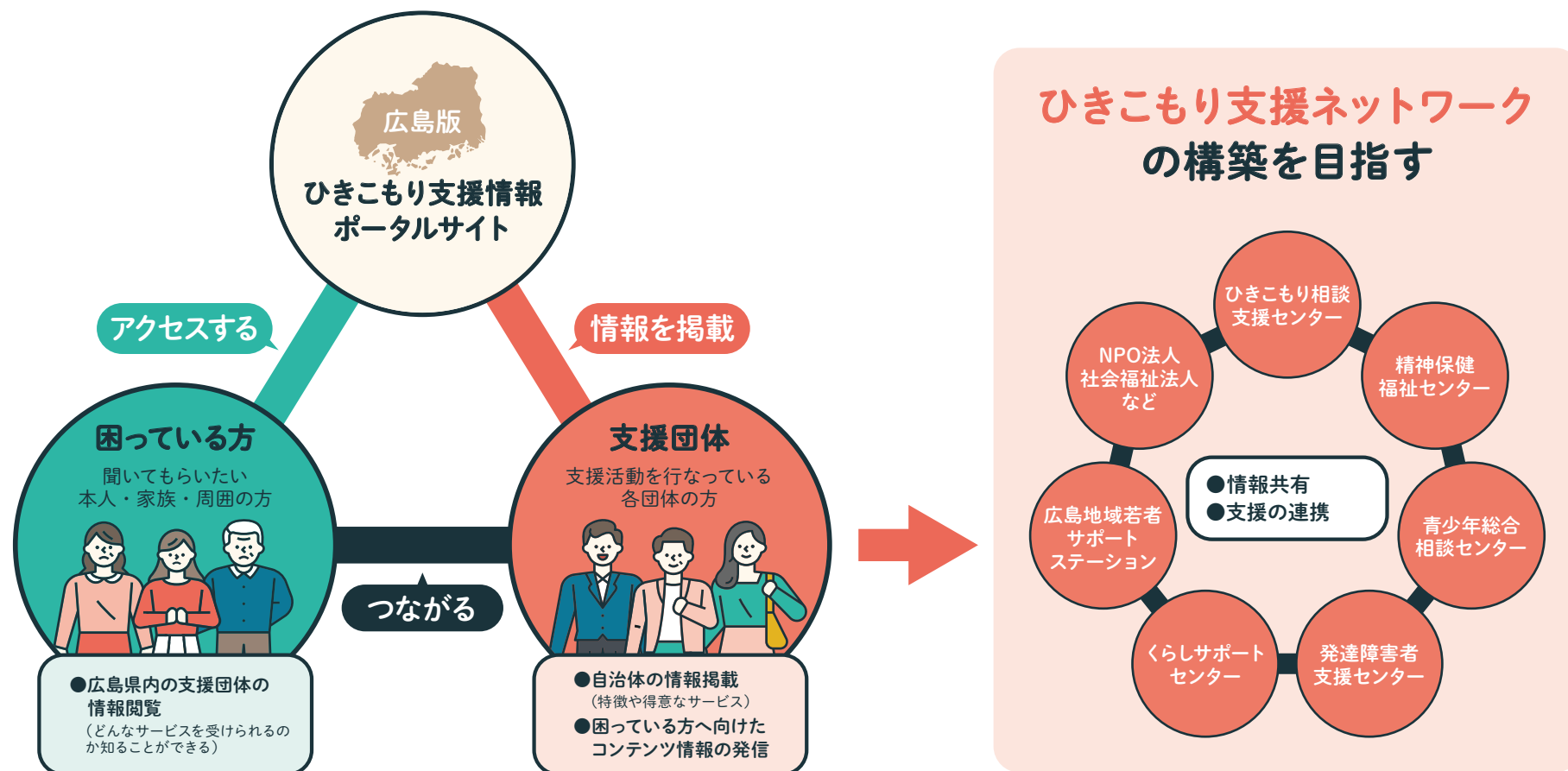
広島版ひきこもりポータルサイトを“**広場**”であるとすれば、そこに行けば医療や福祉相談ができる機関や施設、セミナーや講演会、イベント情報、就労や学習についての情報等、地元の特化した情報を探することができます。



ひきこもり支援ネットワークの構築

相談先の検索や相談対応だけでなく、ポータルサイトを通じてひきこもり支援ネットワークの構築を行い、支援の内容や質、幅を広げていきたいと私たちは考えています。

県内の「広島ひきこもり相談支援センター」やひきこもり支援を行っている民間、NPOの団体(専門機関)およびインフォーマルのあらゆる地域にある人や施設の社会資源のご紹介も行います。



広島県健康福祉局からのメッセージ

広島県がポータルサイトにかける思い

ひきこもりの状態にある方やそのご家族は、それぞれ異なる経緯や事情を抱え、回復の過程も人それぞれです。安心して過ごせる場所や、自らの役割を感じられる機会があることが、生きていくための基盤になると考えます。

そのためにも、関係機関が連携し、必要な支援に繋ぐことが大切であり、関係機関のネットワークが重要となります。

ひきこもりの状態にある方やそのご家族が、このポータルサイトを活用いただくことで容易に相談先を見つけることができ、ひきこもりの状態の長期化・深刻化の防止に繋がることを期待しています。



広島県 健康福祉局

特定非営利活動法人 FOOT&WORK について

FOOT&WORKは、広島市安芸区・安芸郡府中町・海田町・熊野町・坂町などの「安芸地区」を発信源に、「コミュニケーションの場づくり」「楽しく、暮らしやすい場づくり」「自分らしさと活躍の場づくり」に働きかける活動を行うために発足した、特定非営利活動法人です。具体的には、障がい者スポーツ事業、子ども食堂、地域交流会、地域住民活動のサポート、認知症啓蒙活動、認知症グループホームの第三者評価、フードバンク事業、自立訓練事業所の運営、障がい者就労支援等を行っています。

特定非営利活動法人
FOOT&WORK

< 法人概要 >

法人名 特定非営利活動法人FOOT&WORK
所在地 〒736-0045 広島県安芸郡海田町堀川町1-8 ホスタ海田堀川町ビル1階
代表者 理事長 下原 千夏
Webサイト <https://footandwork.com/index.html>

FOOT&WORKがポータルサイトにかける思い

それぞれの強みを生かした「ひきこもり」に関する良質な情報を集約し、必要としている情報や繋がり(支援)を必要なタイミングでみつけやすくする仕組みを創り、それぞれの社会参加が実現することを目指します。また、様々な支援方法や環境の理解を深め、支援者ネットワークの構築にも繋げていきたいと考えています。皆様と共にサイトを成熟させていけることを嬉しく思います。



FOOT&WORK 理事長 下原 千夏

株式会社レスコについて

株式会社レスコは、精神科に特化した電子カルテメーカーです。日本で初めて精神科専用の電子カルテを開発し、精神科病院での導入数はトップシェアを誇ります。精神科病院向け電子カルテ「Alpha」、精神科診療所向けクラウド型電子カルテ「Warokuクリニックカルテ」、クラウド型訪問看護支援システム「Waroku訪問看護」の3つのシステム群をご提供し、変化し続ける精神科医療の現場をサポートしています。



<法人概要>

社名	株式会社レスコ
所在地	本社：〒730-0014 広島県広島市中区上幟町5-15 1階 広島支社：〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀4-4 エイトバレー八丁堀 7階
代表者	代表取締役 藤川 佳應
Webサイト	https://rescho.co.jp/

株式会社レスコがポータルサイトにかける想い

私共レスコはICTの立場から我が国の精神科医療に携わって参りましたが、家庭の抱える課題が多重化・複雑化する現代社会では、地域協働による共助社会の形成に向けた公衆衛生の充実がこれまで以上に求められると考えております。そうした協働・共助ネットワークと悩みを抱える方々との距離を縮められるツールの一つとしてインターネットは非常に有効だと考えて、この度のポータルサイト設営に協力させて頂いております。私たちの技術が地域社会に少しでも貢献できればと考えております。



レスコ 代表取締役 藤川 佳應